

友好交流の深化

問

「※日本の家」を活用した 交流活性化は

答

現地の意向を尊重し交流促進



質問者の動画が
視聴できます。

しちのへ
七戸

ひとし
仁 議員

つぶやき

五能線には通学で
本当にお世話に
なりました。



問 七戸議員

フィンランドのラヌア郡にある旧岩崎村から寄贈された「日本の家」を活用し、最低年1回、観光ポスターや文化展の作品等を送付し、現在の深浦町をより身近に感じてもらうなど魅力を再発信すべきと考えるが。

答 町長

ラヌア郡や新たな指定管理者の意向を尊重しながら取り組んでいく考えである。また、フィンランド国関連の情報収集を進めながら大使館が主催する文化イベント等への参加を探っていく考えである。



▲日本の家

歴史資源の有効活用
ふかうら文学館の活用方針は

『観光振興と運動した活用を検討』

問 七戸議員

太宰の宿ふかうら文学館は、太宰治ゆかりの宿であり、町の有形文化財として高い価値を有している。図書館機能移設後は、「道の駅」として登録することで浜町商店街の滞在拠点や回遊性も生み出すと考えるが。

また、歴史的な建物の趣を活かしたカフェなど民間活力を導入し、来訪者の滞在や消費を促す仕組みづくりも有効と思うが。

答 町長

国土交通省の「道の駅」登録には要件の充足、多額整備、維持コストなどの課題を踏まえながら実現可能性を慎重に検討していく。また、民間活力を活用したカフェ等については有効な手法と捉えており、再利用にとどまらず、町全体



▲ふかうら文学館

の観光戦略や地域経済の活性化につながるよう、早期に具体的な活用方針を策定していく。

※日本の家…旧岩崎村との友好の証として1998年に建設された日本の木造建築技術を取り入れて建てられた施設。

わが町のここが聞きたい

五能線90周年

五能線90周年の
おもてなし強化は

『手を振ろうキャン
ペーン』を推進』

問 七戸議員

五能線全線開通90周年とい
う節目に合わせ、町民のおも
てなしの心を可視化する取組
を進めるべきと思うが。

また、JRのイベント期間
や強化週間に合わせて「列車
を見かけたなら手を振ろう」と
町民へ呼びかけるほか、観光
客が多く利用するリゾートし
らかみの通過時に、沿線住民
や観光関係者による自然な手
振りを促してはどうか。

答 町長

JRでは、五能線全線開通
90周年を祝し、「手を振ろう
キャンペーン」を沿線市町村
において実施することとして
いる。地域住民が列車に手を
振ることは、来訪者や運転手
への思いやりや心からのおも
てなしを伝える取組である。
町としても、広報紙や防災



無線、ホームページ、SNS
を通じ、「列車を見かけたら
手を振ろう」の情報発信に努
めていく。

未利用地の活用

町有未利用地の活用
方針は

『効果的な利活用を
検討』

問 七戸議員

旧岩崎総合スポーツセンタ
ー跡地や大間越口マンの里な
ど、活用策が定まらないまま
の町有未利用地が見受けられ
る。こうした未利用地の現状
をどのように認識しているの
か。

また、人口減少が進む中、
未利用地を地域活性化や財源
確保につなげる有効な活用を
図るべきと思うが、今後の方
針は。

答 町長

町は、効果的な利活用に至
っていない町有地が複数存在
していると認識している。建
物等が残る土地については、
解体費用や維持管理費の負担
などが課題となっている。

一方、更地として管理して
いる土地は、防災ヘリやドク
ターヘリの発着場、工事残土



▲大間越口マンの里



▲旧岩崎総合スポーツセンター跡地

の搬入地として活用している。
今後は、公共施設の統廃合
や集約化に伴う再活用を検討
するとともに、町の将来を見
据え、売却も含めた効果的な
利活用を模索、検討していく。

議会を傍聴しませんか

定例会は、誰でも傍聴することができます。町政に
関する予算や条例の提案、議員の質問・質疑、採決な
どが行われます。

次回は、9月上旬に定例会を開く予定ですので、皆
さんの傍聴をお待ちしております。

